

YAMAHA Electone EL-17

ヤマハエレクトーン

子ども
ガイドブック





やくそく
エレクトーンをひくときのお約束です。

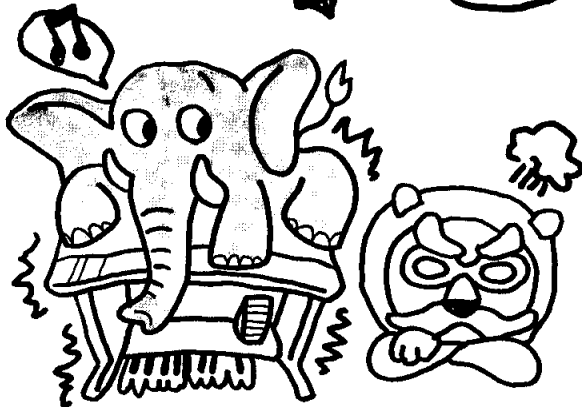
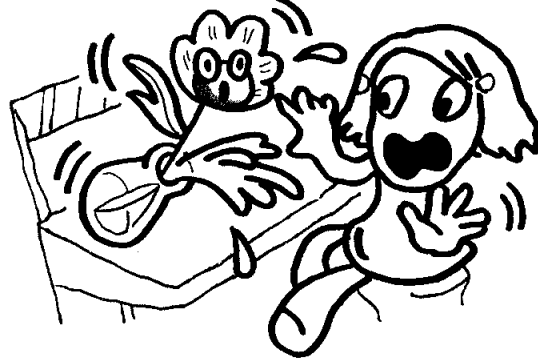
よくまもってくださいね。



て でんげん
ぬれた手で電源コードをさわらない。

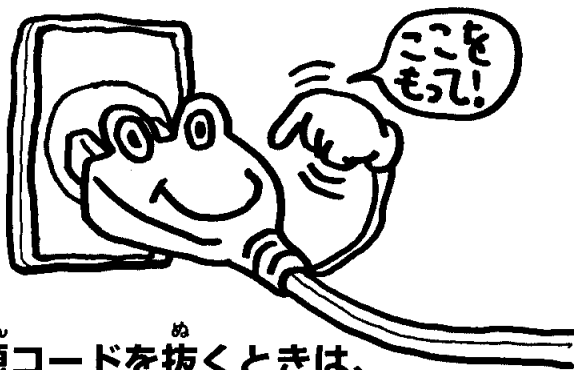
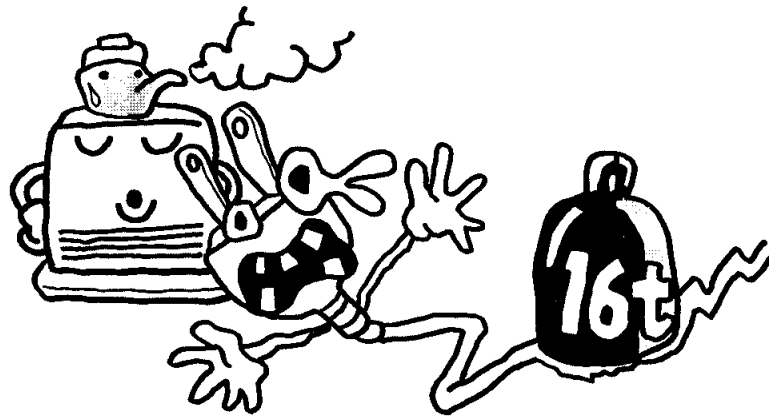


うえ みず
エレクトーンの上に水の入った
か お
花瓶やジュースなどを置かない。



でんげん
電源コードをストーブに近づけたり、
ま
曲げたりしない。また、
でんげん
電源コードに重いものをのせない。

うえ
エレクトーンの上ののったり、
おも
重いものをのせたりしない。



でんげん
電源コードを抜くときは、
かなら でんげん
必ず電源プラグを持って引き抜く。



キーボードカバーのすきまに
て い
手を入れない。



せかい エレクトーンの世界によろこそ

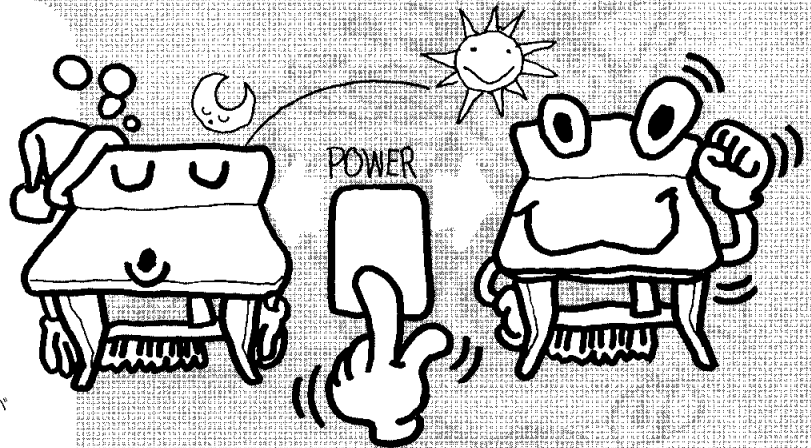
これからエレクトーンのお話^{はなし}がはじまります。
その前^{まえ}に、エレクトーンがお話^{はなし}しできるようにじゅんびします。

じゅんび

①

エレクトーンのPOWER(パワー)
ボタンを押して、エレクトーン
をおこします。

(いつもは、エレクトーンはねむっています。)
エレクトーン^(こんごう)の電源^(でんげん)が入って、左がわのランプが
びかびかとなります。



★もういちどPOWER(パワー)ボタンを押すと、
エレクトーンはねむります。
エレクトーンをつかわないときは、エレクトーン^{でんげん}の
電源は切っておいてください。

②

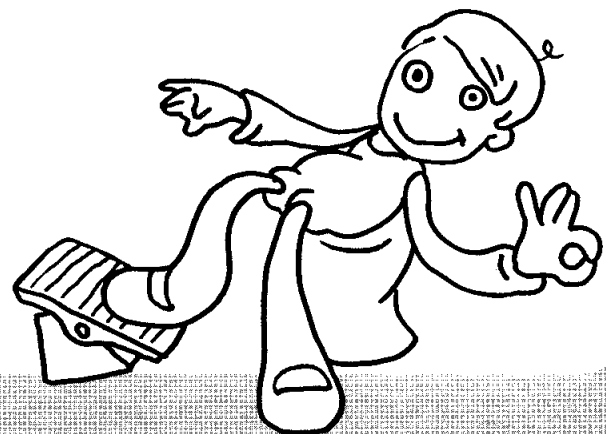
おんりょう
[音量]ダイヤルを回して、エレクトーン
の^{こえ}声の^{おお}大きさをきめます。

だいたい、5のあたりにします。



③

エクスプレッションペダルを
ふみこみます。



これで、じゅんびができました。

もり おんがくか
レミちゃんと森の音楽家たち

はなし ひと
このお話にでてくる人たち



レミちゃん
おんがくず あか おんな こ
音楽好きの明るい女の子



子ねこのミーニャ
レミちゃんちの子ねこ



ソラクン
レミちゃんのおとうと。



おじまんぼう

しってらいおん
つかい かた
エレクトーンの使い方のヒントを
おし
教えてください。

おじまんぼうくすに住んでいるまんぼう。おじま
まんぼうくすに書いてあるエレクトーン操作は必ず
やってください。

もり
森のなかまたち



おじまん
ぼうくす

さいしょは、エレクトーンのデモ曲(自動えんそう曲)をききます。

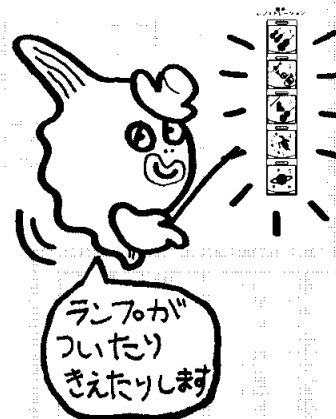
エレクトーンにはデモ曲が5曲入っています。

ひだり いろ
左はしのみどり色で[デモ]とかかれたボタン
お
を押しつづけます。上けんばんのとなりにある

基本レジストレーションボタンのランプが

ぴかぴかとなついたりきえたりはじめたら、

[デモ]ボタンから手をはなします。



これでデモ曲モードに入り、デモ曲をきくじゅんぴができました。

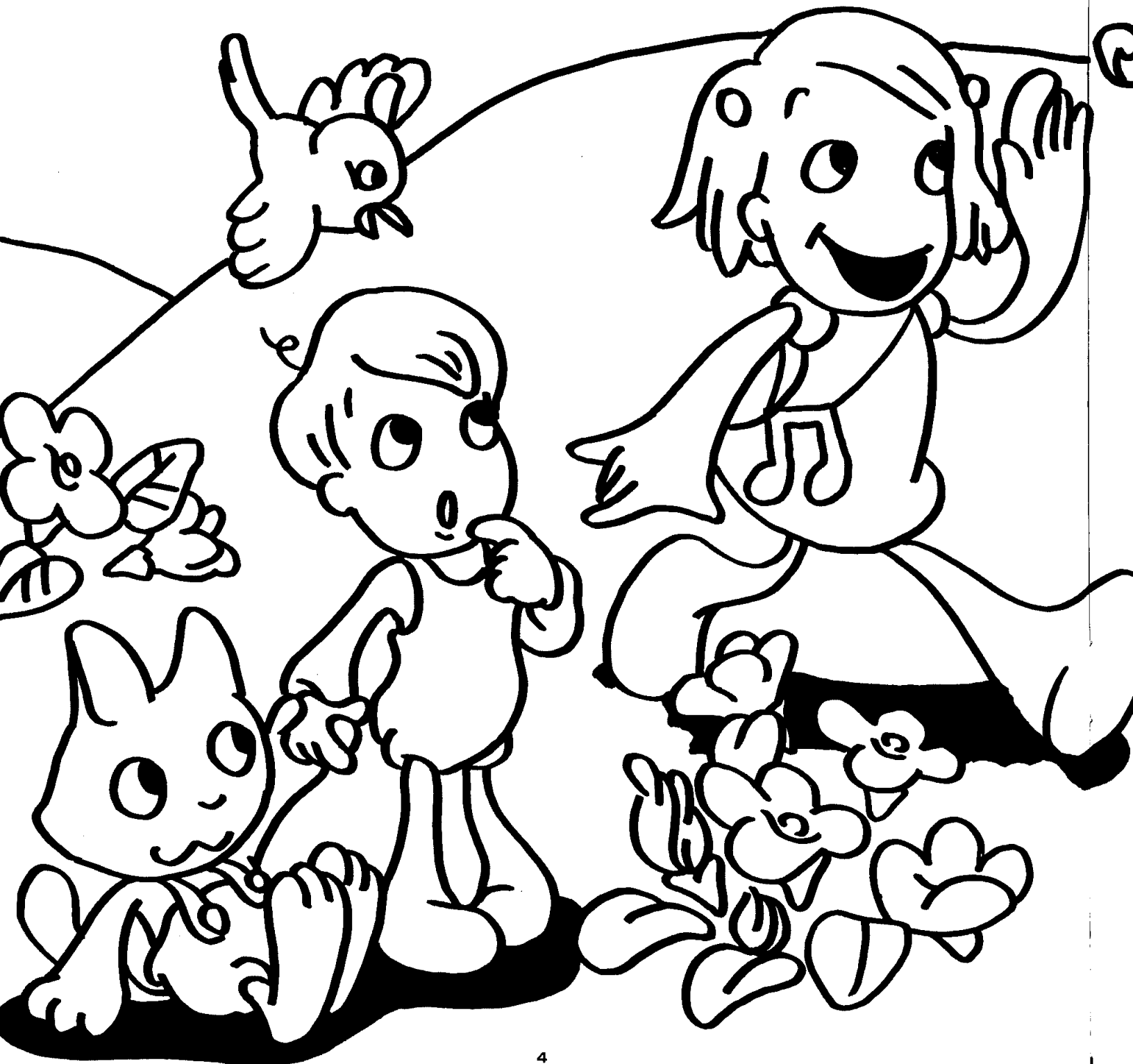
ここの^{やま}山の^{はもり}葉森の^{はなばたけ}お花畑。
女の^{おんな}子の^こ明^{あか}る^{こえ}い^{こえ}わ^{こえ}ら^{こえ}い^{こえ}声^{こえ}が^{こえ}き^{こえ}こ^{こえ}え^{こえ}て^{こえ}き^{こえ}ま^{こえ}す。レミちゃんです。

レミちゃんはいつもおとうとのソラくんと子ねこのミーニヤをつれて、お花畑にあそびにきます。

「チチチ、レミちゃん、おはよう」

「小鳥^{ことり}さんたち、おはよう」

レミちゃんは、小鳥^{ことり}たちとおしゃべりしたり、
歌^{うた}をうたったり、おどったりしてあそんでいました。





ある日、レミちゃんたちがあそんでいると、
もりなか森の中からきれいな音がきこえてきました。

「ねえ、なにかがきこえるわ」

レミちゃんは耳に手をあてて言いました。

「なんにもきこえないよ」

「にゃあにもきこえないにゃあ」

「でもやっぱりきこえるわ」

小鳥のなき声ともちがうし……、

今までにきいたことのない音楽が春風にのってながれてきます。

レミちゃんは、音楽がきこえてくるほうに歩きだしました。

おとうとのソラくんと子ねこのミーニャも、レミちゃんについていきます。



さん^{さん}にん^{にん} もり^{もり} なか^{なか} には^{には} どん^{どん}どん^{どん}入^{はい}って^{って}い^いくと
まわり^{まわり}はだ^だんだ^{んだ}ん^ん暗^{くら}くな^なって^{って}い^いきました。

「ねえねえ、かえろうよ」

「かえろうにゃあ。にゃあにゃあ」

「ちょっとま^{すこ}って。もう少^{すこ}し」

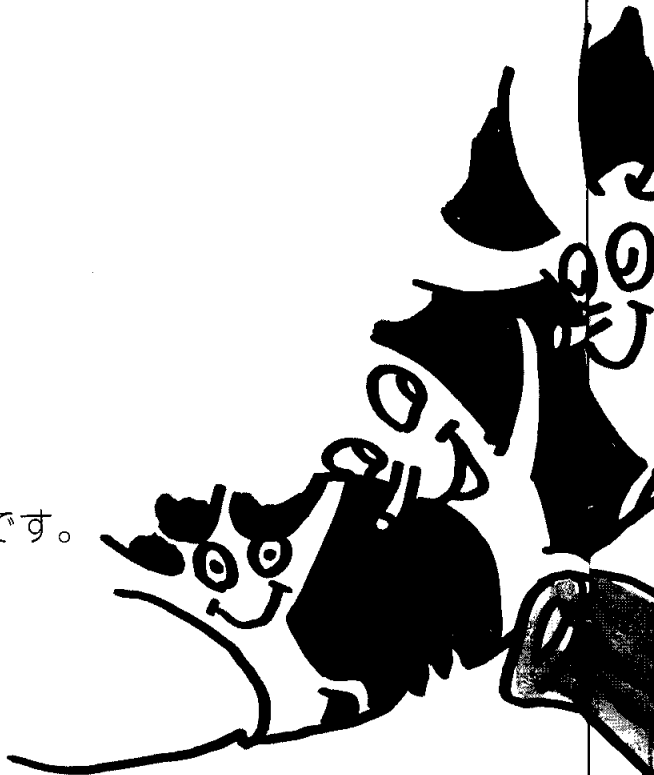
ソラ^{ソラ}くんとミー^{ミー}ニ^ニャ^ャは少^{すこ}しこ^こわ^わくな^なって^{って}き^きた^たよう^{よう}です。
大^{おお}き^きな^な木^きが^がお^おば^ばけ^けに^に見^みえ^えて^てき^きます。

「ねえねえ、かえろうよ」

「かえろうにゃあ。にゃあにゃあ」

「ちょっとま^{すこ}って。もう少^{すこ}し」

ず^ずっと^と歩^{ある}いて^{いて}い^いくと、大^{おお}き^きな^な大^{おお}き^きな^な木^きが^があ^あり^りま^まし^した。
そ^その^の木^きの^のま^まん^ん中^{ちゆう}に^にレ^れミ^みち^ちゃ^ゃん^んが^がや^やっ^っと^と入^{はい}れ^れる^るく^くら^らい^いの^の小^{ちい}さ^さな^な穴^{あな}が
あ^あい^いて^てい^いま^ます。ど^どう^うや^やら、音^{おん}楽^{がく}は^はそ^その^の穴^{あな}か^から
き^きこ^こえ^えて^てき^きて^てい^いる^るよう^{よう}です。





レミちゃんは穴の中をのぞいてみてびっくり!!

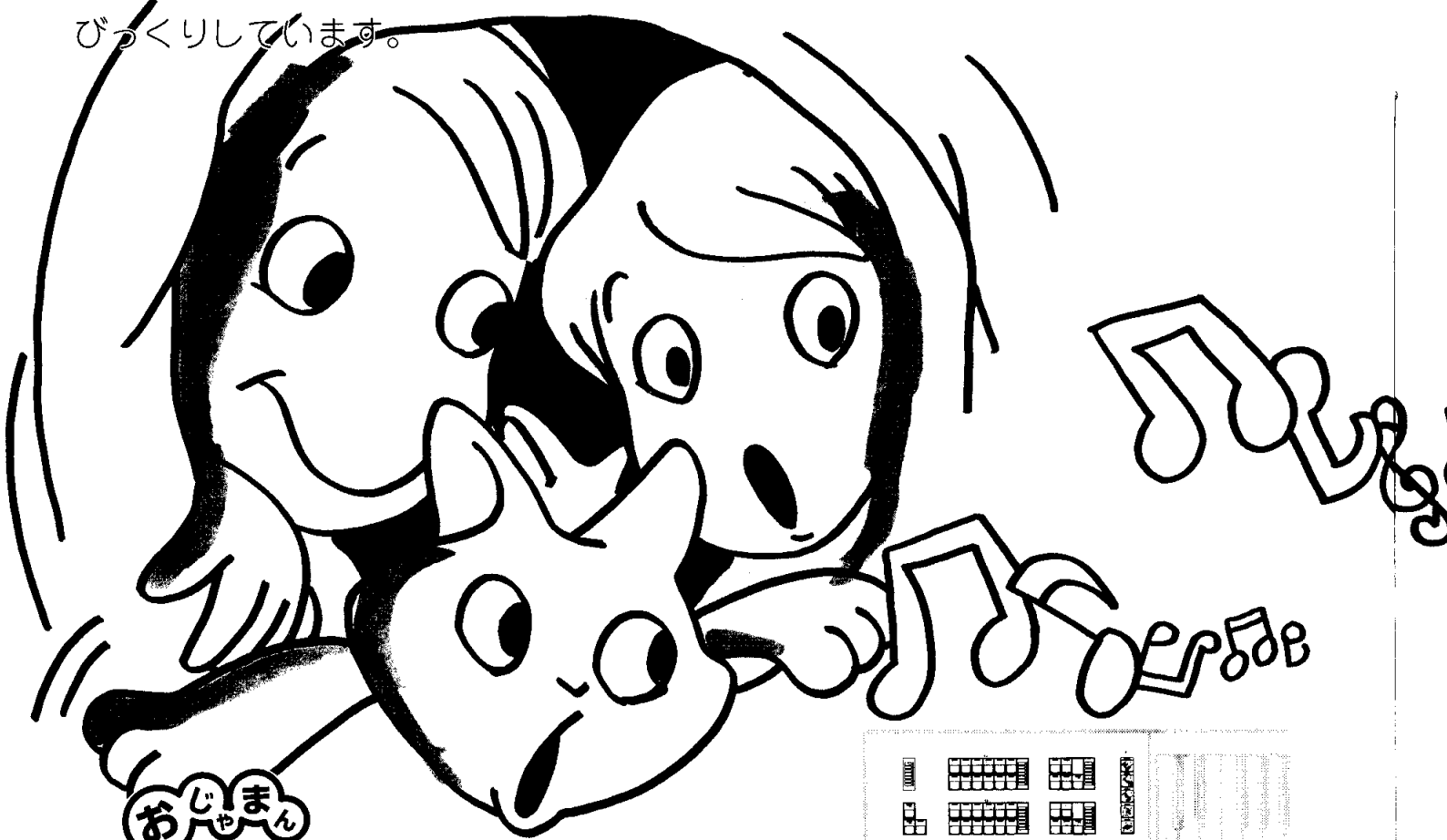
あなの中はとても広くなっていて、まん中に舞台があります。

舞台の上でリスたちがバイオリンやビオラ、チェロを


たのしそうにひいているではありませんか。

どうやら、きょうは山の葉森の音楽会のようにです。

おとうとのソラちゃんと子ねこのミーニャもよこからのぞきこんで、びっくりしています。



おじゃまん ぼっくす

あなたもここで  のボタンを押してください。

リスたちがえんそうしている曲と同じ

デモ曲1のえんそうがはじまります。

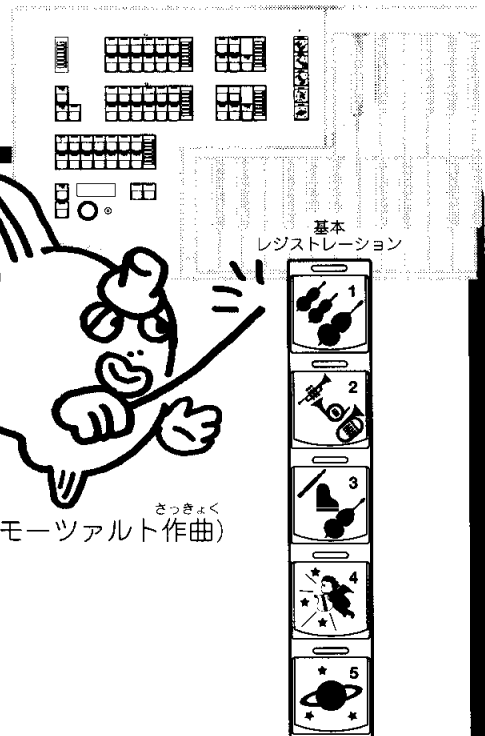
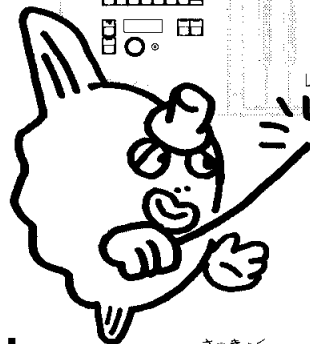
きいたことがあるでしょう?

「アイネ クライネ ナハト ムジーク」 (モーツァルト作曲)

という曲です。

デモ曲はさいごまでえんそうされると、

自動できに止まります。





リスたちは葉っぱのコンサートいしょうをきて、
おんがくか
音楽家のようにすましてえんそうしています。
とてもすてきなえんそうです。

リスのえんそうが^お終わると、こんどは、舞台の右がわから
元気^{げんき}のいい^{にゅうしやう}ブラスバンドが入場してきました。

先^{せん}とうはカモシカです。

カモシカはじまんの^{なが}長い^{あし}足を^{たが}高く上げて、^{しき}指揮をしています。

そのうしろには、トランペットの^{おお}キツネ、ホルンの^{おや}カタツムリ、チューバの^こゾウ。そしてさいごに^{おお}大だいこの^{おや}親^{おや}ダヌキと^こ小だいこの^こ子^こダヌキがつづいています。





ブラスバンドのどうぶつたちは、みんな背中^{せなか}をのばして、さっそうと行進^{こうしん}していきます。あまりにもたのしそうだったので、レミちゃんは、おもわず穴^{あな}の中にとびおりて、行進^{こうしん}にくわわりました。おとうとのソラくんと子ねこのミーニャも、レミちゃんのあとにつづきました。子ねこのミーニャはレミちゃんのとおりで、みゃあみゃあないて、およろこび!!

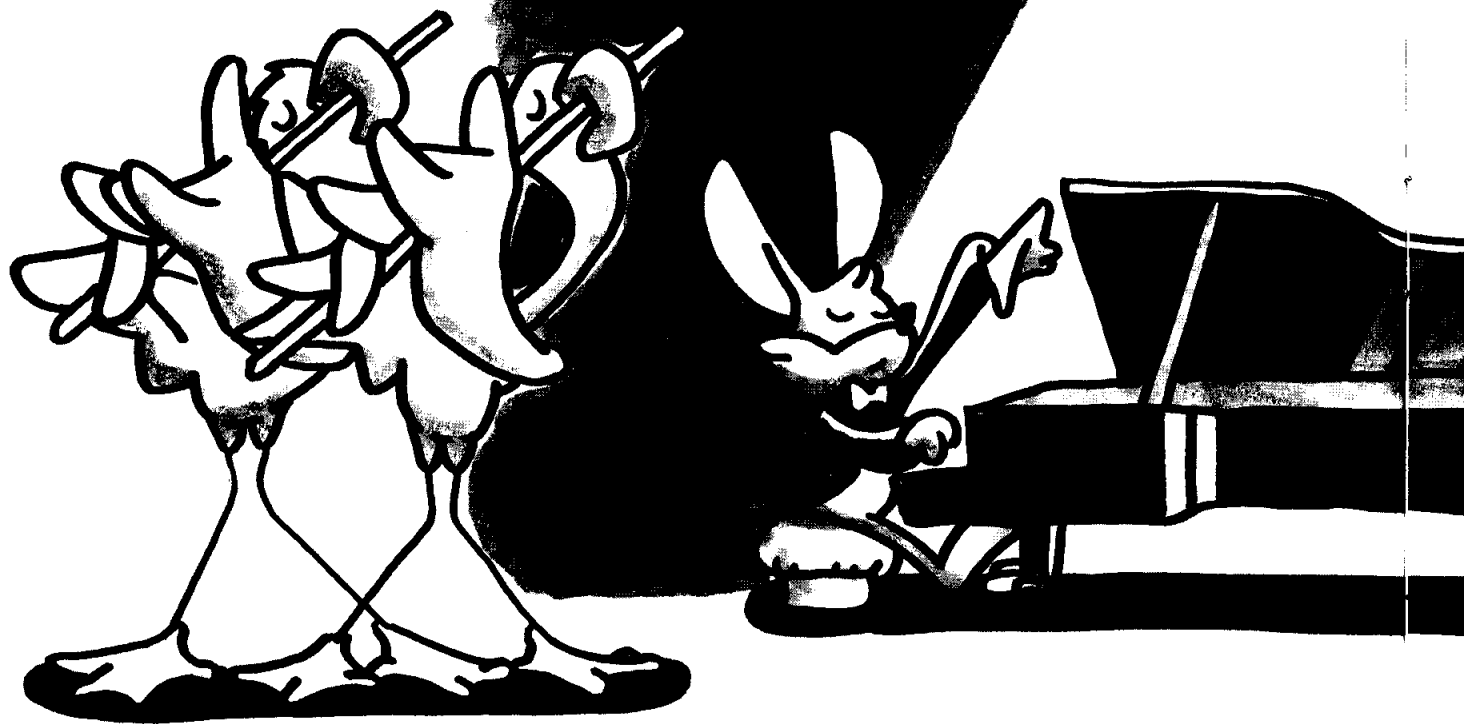
**おじゃまん
ぼくす**

あなたも  のボタンを押してください。
デモ曲^{きょく}2のえんそうがはじまります。
イギリス曲^{きょく}の「**ロンドン橋**」です。




基本
レジストレーション





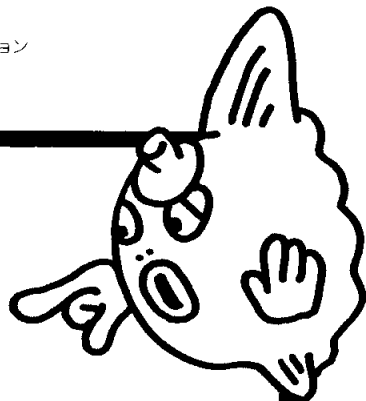
ブラスバンドが舞台からでていくと、
 こんどは、しずかな曲がはじまりました。
 舞台はうす暗くなって、まん中のピアノにスポットライトがあたっています。
 コンサートいしょうでおめかししたウサギが、
 うっとりとしたかおでピアノをひいています。
 そのよこでは、おしゃれなフラミンゴがからだをゆらしながらフルートをふき、
 キリンが目をとじたままコントラバスをひいています。

おじまん
ぼくす

あなたも  のボタンを押してください。
 デモ曲3のえんそうがはじまります。

デモ曲3は「野ばらによす」(マクダウエル作曲)です。

基本
レジストレーション





えんそうが終わると、舞台がとつぜんまっ暗になりました。

「まっ暗になっちゃったよう。こわいよう」

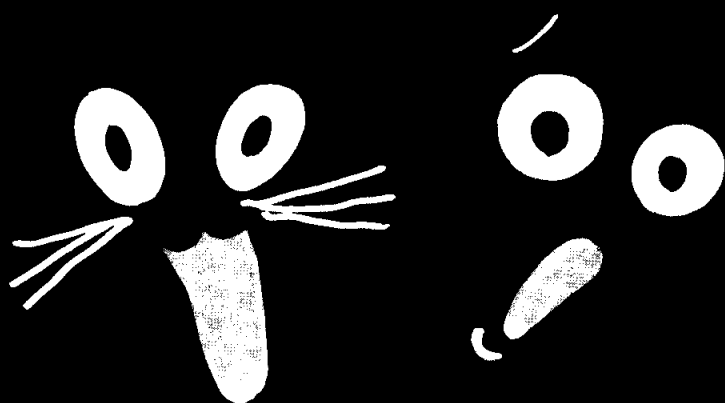
「にゃにも見えないにゃあ」

「しっ、しずかに！」

レミちゃんは、おとうとのソラくんと子ねこの
ミーニャの泣きだしそうな声を止めました。

レミちゃんもほんとうはとっても心細かったのです。
でも、なにかがきこえてきたようなきがしたのです。


「ほら、ソラちゃん、ミーニャ。上を見てごらん」

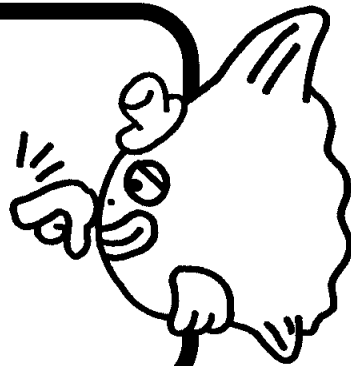




基本
レジストレーション

**おじまん
ぼっくす**

あなたも  のボタンを押してください。
 デモ曲4のえんそうがはじまります。
 デモ曲4はみんなのしってる
「きらきら星」 (フランス曲) です。



さん^{にん} そら^{みあ} みあ
三人が空を見上げると、星^{ほし}がきらきらと光^{ひか}りだしました。

「あっ、天使^{てんし}たちが星^{ほし}にすわってハーブをひいている。」

ほし
お星さまがきらきらがやくのにあわせて、
てんし
天使たちがハーブをひいています。とってもきれいです。

やがて天使^{てんし}たちは星^{ほし}といっしょに西^{にし}のほうにきえていきました。



すると、こんどは、東の空に小さな光がぴかっときらめきました。

「あっ流れ星!!」

その流れ星は、ものすごい音を出しながらどんどん近づいてきます。

まぶしい光の中でレミちゃんはじっと目をこらしてみました。

あっ、銀河をむすぶ汽車 コミカルトレインです。

コミカルトレインは星くずをまきちらしながら、レミちゃんの前までやってきました。

コミカルトレインは、煙のかわりにすてきな音楽をえんとつから出しながら、レミちゃんたちの上をくるくるとまわっています。



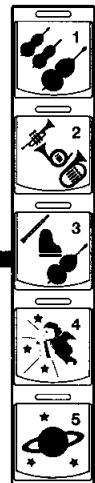


きがつくと、^{いま} ^{ふたい} ^た ^{どうぶつ} 今まで舞台に立っていた動物たちが、
 コミカルトレインのたのしいリズムにあわせておどっています。


「わたしたちも いっしょにおどりましょう」

「うん、おどろうよ!」

基本
 レジストレーション



おじまん
ぼくす

あなたも  のボタンを押してください。

デモ曲^{きょく}5のえんそうがはじまります。

デモ曲^{きょく}5は

「コミカルトレイン」 (わたなべむつき^{きょく}作曲)です。



やがて、コミカルトレインも西の空にきえていきました。

音楽も終わり、動物たちはおどるのをやめました。

でも、レミちゃんたちはきづかずにおどりつづけています。

「だれだい。あのこたちは？」

「人間、人間がいるぞ」

動物たちがレミちゃんにきづいて、さわぎはじめました。

レミちゃんたち三人は、動物たちにとりかこまれてしまいました。



「人間はぼくたちの住んでいた川をよごしたぞ」

ビーバーがひげを立てて言いました。

「見てくれよ、ぼくのしっぽ。人間の車にひかれたんだ」



オナガザルが、せんべいのように平たくなったしっぽをくるくるとふりまわしました。

「人間は自分かってすぎるぞ。人間は出ていけ」

「そうだ。そうだ」

レミちゃんはとてもかなしくなりました。



「ちょっとまちなさい。この子はな、レミちゃんといって、良い子じゃよ」
白いひげをのばしたフクロウが言いました。



「そうよ。この子はわたしの子供が巣から落ちていたのを助けてくれたわ」
ムクドリのおかあさんがよこから顔を出しました。



「ぼくがまいごになったときも、いっしょに家をさがしてくれたよ」
キツネのぼうやも言いました。

「この子も音楽が好きみたいじゃ。どうじゃ。
なかまに入れてやろうじゃないか」



フクロウが白いひげをなでながら言いました。
動物たちはみんな大さんせい。大きな拍手が森中にまきおこりました。

「でも、わたし、なんにも楽器がひけないの」

レミちゃんはずかしそうに言いました。

「しんぱいはいらないガオー。

エレクトーンを使えば、今までみんながえんそうしていた楽器がっきグア
ぜんぶひけるんだから」

いっとう
一頭のライオンがレミちゃんの前まえで出てきました。



「おお、そうじゃ。

ここは音楽監督おんがくかんとくの『しってらいおん』に
まかせるのが一番いちばんじゃ」

「それじゃあ、さっそくひいてみるガー」

しってらいおんはレミちゃんとソラくんを
エレクトーンの前まえまでつれていきました。



おじゃまん

ぼくす

きよく
デモ曲のききかたはわかりましたね。

それでは、デモ曲モードを終わります。

ひだり
左はしのみどり色の[デモ]ボタンを、

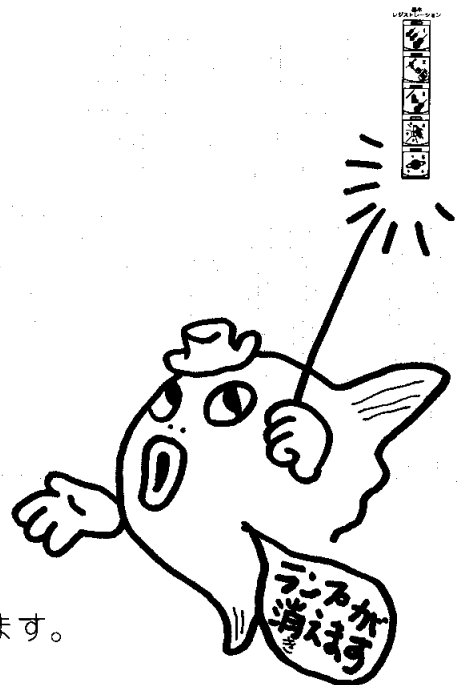
もういちど押します。

うえ
上けんばんのとなりにある

基本レジストレーションボタンのランプがきえます。

さいご
(最後にえらんでいたボタンのランプだけがつかます。)

きよく
これでデモ曲モードを終わりました。



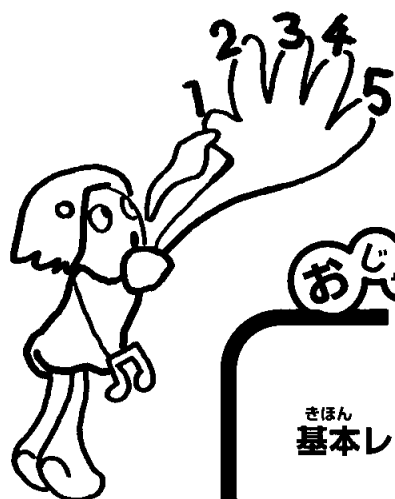
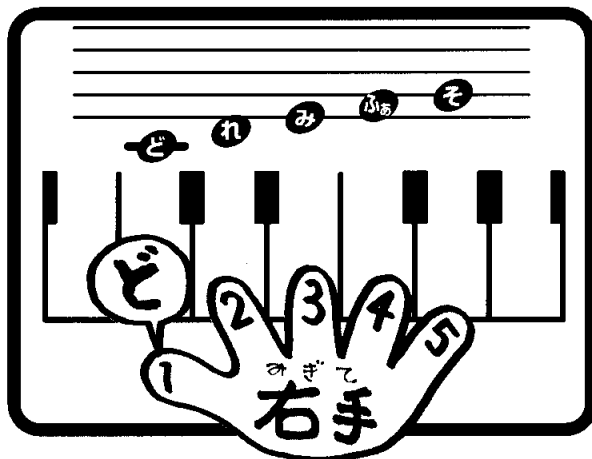
「レミちゃん、^{うえ}上げんばんで、^{みぎて}右手を^{つか}使って
この^{がくふ}楽譜どおりひいてグォらん」

「でも、ひきかたがわからないわ」

「なーに、かんたん、かんたん。」

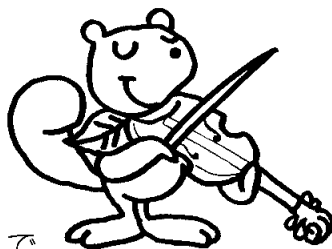
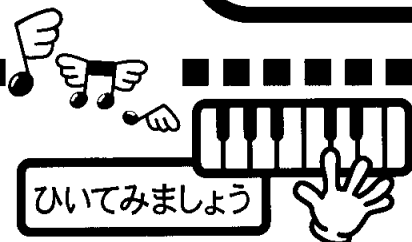
『^{おと}ど』の音が^{おやゆび}親指で、ほかの音もイラストに
書いてあるとおりにひけばいいんだガー」

「^{おと}どんな音になるのかしら」



「そうそう、ここは^{きほん}基本レジストレーションの  ^{つか}を使う
ことにしようガルー」

「あら、バイオリンみたいなきれいな音だわ」



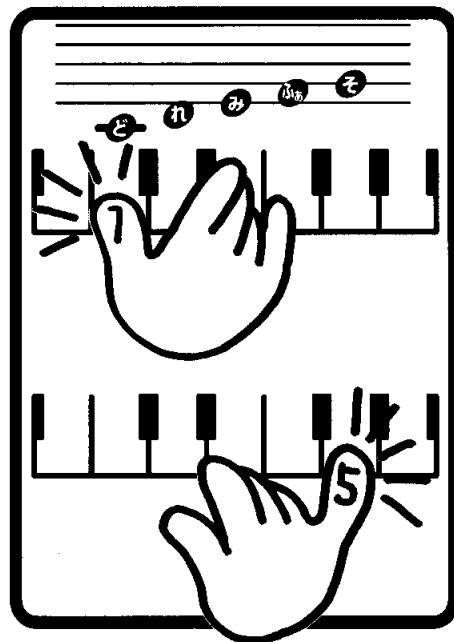
バイオリンをひいているような^き気持ちで、
なめらかに(^{おと}音が切れないように)、

^{ゆび}1の指から^{じゅん}順に

『**ど-れ-み-ふあ-そ**』とひいてみましょう。

『そ』までひいたら、^{ゆび}5の指から、

『**そ-ふあ-み-れ-ど**』とぎゃくにひいてみましょう。





これなに?

基本レジストレーションってなんだろう？

うえ した おんしょく く あ
上けんばん、下けんばん、ペダルけんばんの音色の組み合わせです。
きほん しゅるい
基本レジストレーションは1から5まで5種類あります。

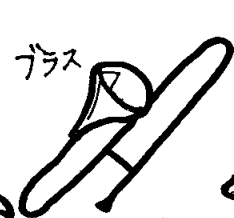
基本レジストレーション①

基本レジストレーション②

基本レジストレーション③

基本レジストレーション④

基本レジストレーション⑤



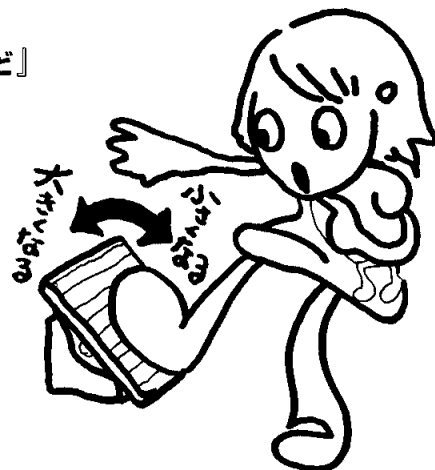
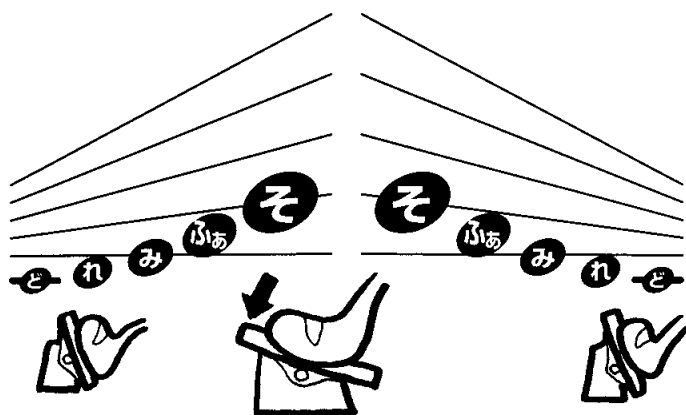
おまけ

「ど-れ-み-ふあ-そ」、^{おと きょうじやく}「そ-ふあ-み-れ-ど」となめらかにひけるようになったら、
エクスプレッションペダルで音に強弱をつけながら、ひいてみましょう。

小さい「ど」からはじめて、大きな「そ」までつづけます。

さらに、大きな「そ」からもどって行って、小さい「ど」で終わります。

「ど-れ-み-ふあ-そ、そ-ふあ-み-れ-ど」



れんしゅう お
「さあ練習グア終わったら『よろこびのうた』をひいてごらん。

きほん
基本レジストレーション  にぴったりの曲だガオー」

「むつかしそうだわ」

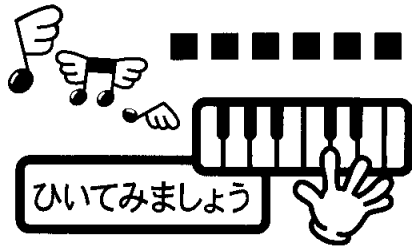
「だいじょうぶガー。『み-み-ふあ-そ』ではじまるから、
『3-3-4-5』の指づかいではじめたらいいんだガー」

「おねえちゃんがんばって」

「がんばるにゃあ」

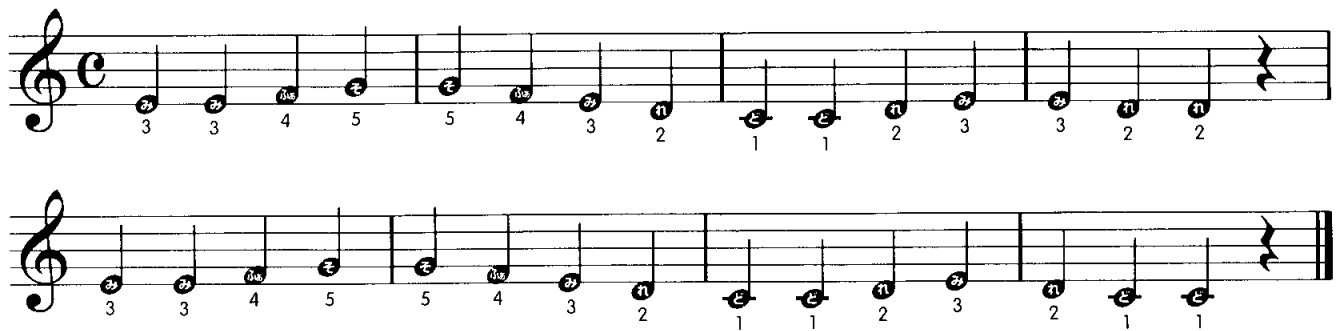


よこでは、おとうとのソラくんや子ねこのミーニャもおうえんしています。



基本レジストレーション ①

かくふ 楽譜『よろこびのうた』 ベートーベン作曲 さつきよく



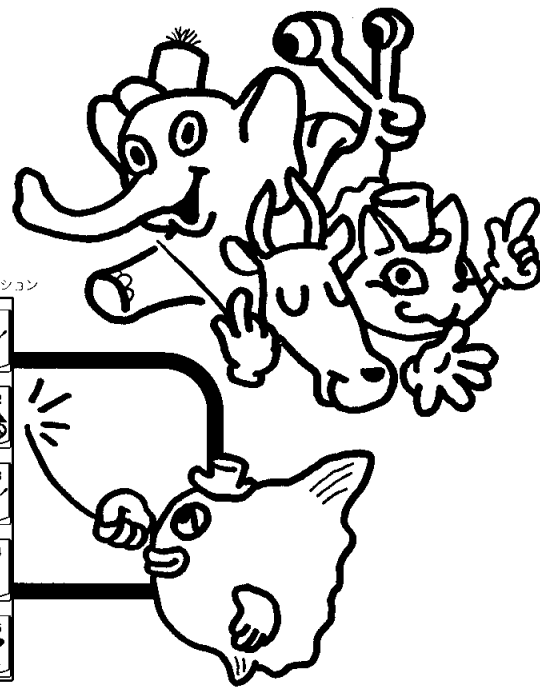
「つぎは『^{せいじゃ こうしん}聖者の行進』を^{きほん}基本レジストレーションの²でひいてみるガオー」

「さっきのブラスバンドと同じ音色ね」

「そうだよ。この音はとっても^{げんき}元気な音だガルー」

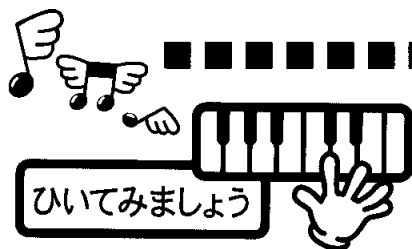
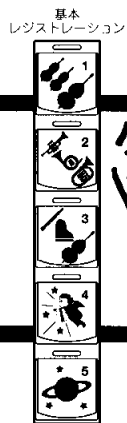
「うん! わたしにぴったりの音だわ」

レミちゃんはうれしくてたまりません。



**おじゃまん
ぼくす**

^{きほん}基本レジストレーション ボタンを押します。



^{こうしん}行進しているような気持ちで、^{げんき}元気よく(少しはずんで)、^{ゆび}指づかいにちゅういしながらひいてみましょう。

基本レジストレーション ②

^{せいじゃ こうしん}『^{がくふ}聖者の行進』 ^{きょく}アメリカ曲

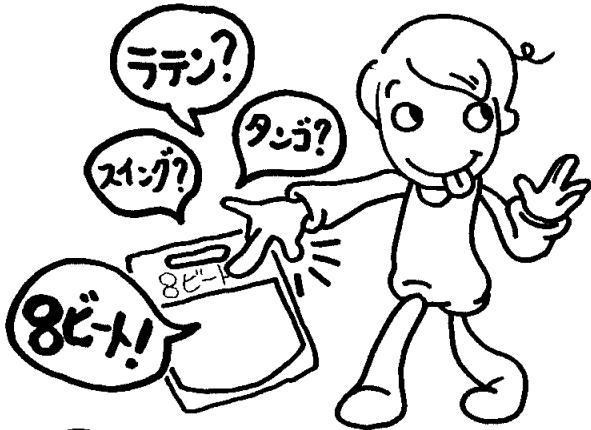
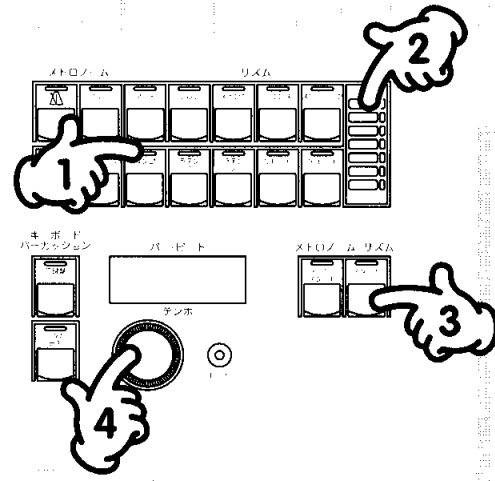




エレクトーンでリズムをならすこともできます。

① ^{つか}使いたいメトロノーム/リズムボタン ^おを押してえらびます。

えらばれたメトロノーム/リズムのランプがつきます。

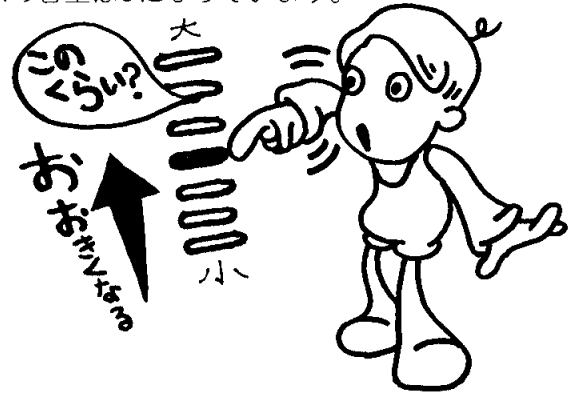


② ^あリズムのボリュームを上げます。

^{きほん}基本レジストレーションをえらぶと、
^{おんりょう}メトロノーム/リズムの音量は0になっています。

③ ^おリズムのスタートボタンを押します。

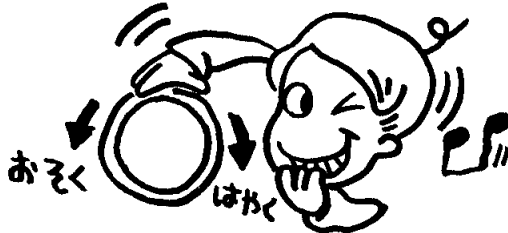
メトロノーム/リズムがスタートします。



④ テンポダイヤルをまわして、
^{はや}リズムの速さをちょうせつします。

^{みぎ}右にまわすと速くなります。

^{ひだり}左にまわすとおそくなります。



もういちどスタートボタンを押すと、メトロノーム/リズムはストップします。

いろいろなリズムがあるよ!
好きなリズムをえらんでね

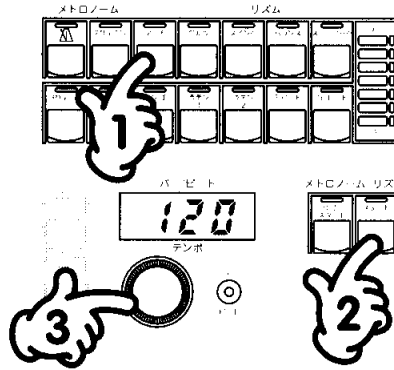




おまけ

ひけるようになったら、リズムにあわせて
ひいてみましょう。

① マーチをえらびます。



② リズムのスタートボタンを押します。



③ テンポダイヤルでマーチの速さを
ちょうどにします。



リズムの速さは120になっています。
少し速すぎるようだったら、テンポダイヤルを
左にまわして、おそくしてください。

さあ、リズムにあわせて
ひいてみましょう。

もういちどスタートボタンを押すと、リズムはストップします。

「さあ、こんどは『**かっこう**』を**基本レジストレーション**の  でひくガオー」

「わたし、わかるわ。この音はフルートでしょ」

「あたりだガルルー」

しってらいおんは目をほそめてこたえました。

「じゃあ、カッコウになったつもりでひいてみるわ」

レミちゃんは、**き** 気もちよさそうにひきはじめました。

「ちょっとまった。ぼくってそんなに**こえ** **ひく** 声は低くないよ」

カッコウがレミちゃんのかたにとまって、とんがった口ばしをさらにとんがらせて言いました。

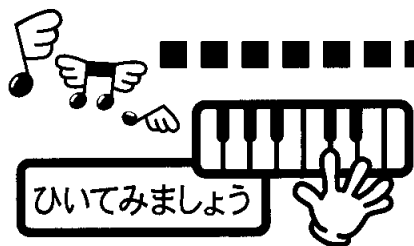
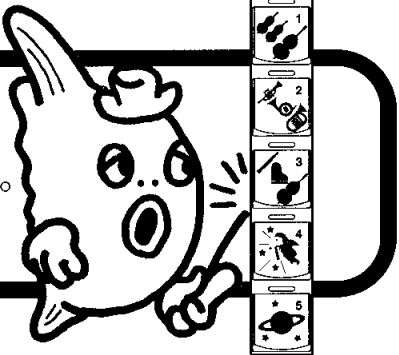
「そうだガオー。レミちゃん、カッコウくんの**い** 言うことがわかるかな？」

レミちゃんは、一しゅん、**こま** **かお** 困ったような顔をしていましたが、すぐに**あか** ぱっと明るくなりました。

おじゃまん
ぼくす

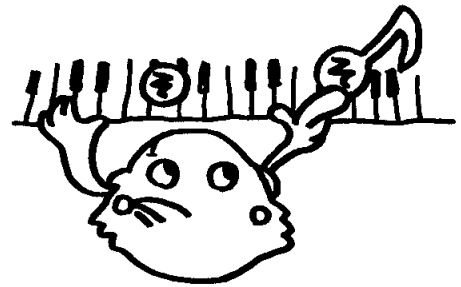
基本レジストレーション  ボタンを押します。

基本レジストレーション



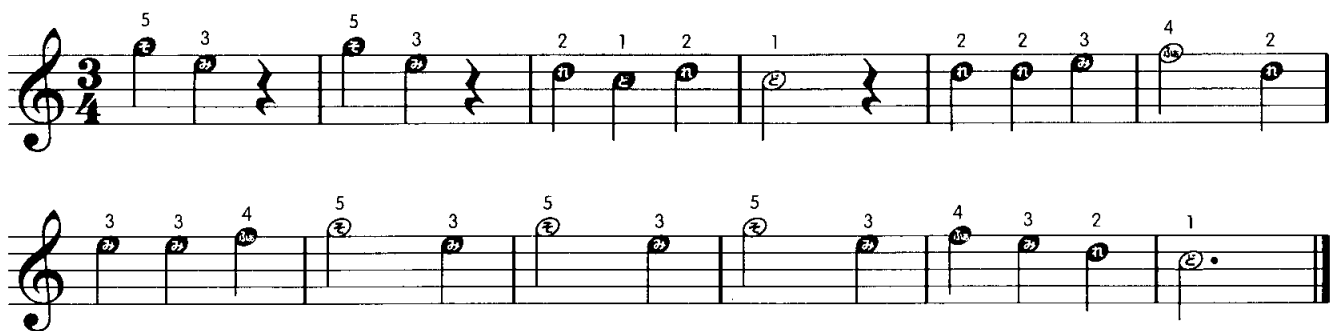
ひいてみましょう

カッコウになった**き** 気もちで、**すこ** 少しはずんでひいてみましょう。
ひとつ高い「**そ**」からはじまります。ちゅういしてくださいね。



基本レジストレーション ③

がくふ **楽譜『かっこう』** **きよく** ドイツ曲



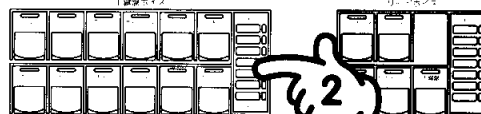


おまけ

★ひけるようになったら、^{うえ}上けんばんの音色を
かえてみましょう。

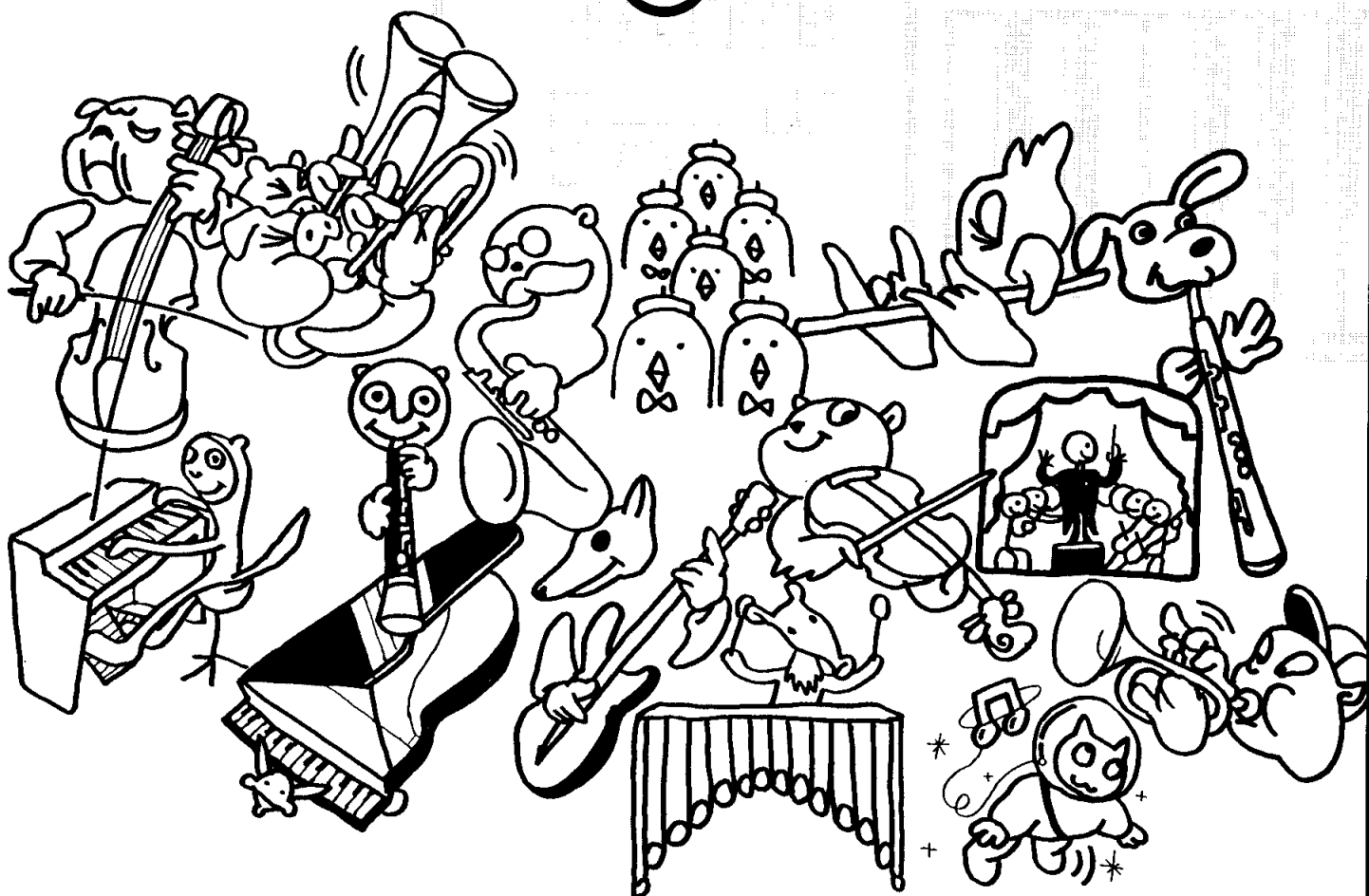


① ^{つか}使いたい音色のボタンを押して
^{おんしょく}えらびます。




^{おんしょく}えらばれた音色のランプがつきます。

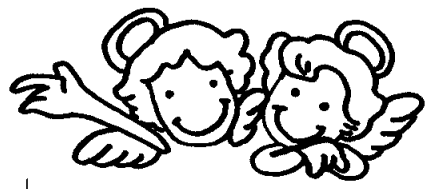
② ^{おんしょく}音色のボリュームを^あ上げます。



^{きほん}基本レジストレーションボタンを押すと、^お音色は
^{きほん}その基本レジストレーションの^{おんしょく}音色にもどります。

★^{きほん}基本レジストレーション  ^{した}では、^{した}下けんばんにピアノがえらばれています。

^{した}下けんばんで(左手で) ^{ひだりて}和音を ^{わおん}押さえながら、^おえんそうしてみましよう。



「つぎは、これ。さっき^{てんし}天使さんたちがひいてた^{きょく}曲。

『^{ほし}きらきら星』を^{きほん}基本レジストレーションの^{おと}でひくガオー」

「わあ、やったー。わたし、この曲ひいてみたかったの。きれいな音…」

レミちゃんは、うっとりしながらひきはじめました。

おじまん

ぼくす

^{きほん}基本レジストレーション  ボタンを押します。



基本
レジストレーション



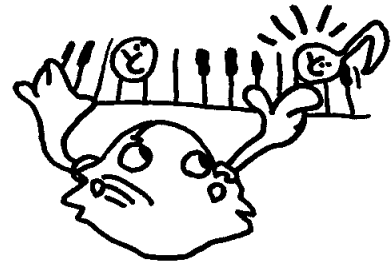
ひいてみましょう



この曲も、ひとつ高い「^{たか}ど」からはじまります。
ちゅういしてひいてくださいね。

基本レジストレーション ④

^{ほし}きらきら星 ^{がくみ}楽譜 『きらきら星』 ^{きょく}フランス曲



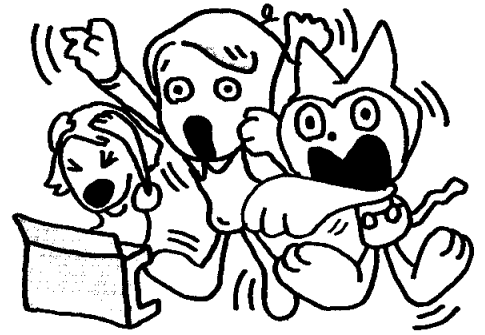

「さあ、さいごは^{きほん}基本レジストレーションの⁵。『チョップスティックスより』だガオー」

「えーっ、もうおしまいなの」

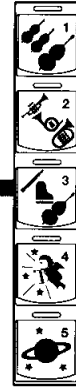
「おねえちゃん、はやくはやく。つぎは、ぼくだからね」

「そんなことにやいよう。じゃんけんにゃあ」

レミちゃんによこで、おとうとのソラと子ねこのミーニャが
じゅんばんをあらそっています。

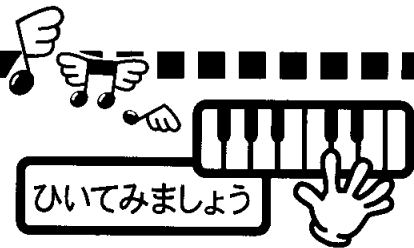
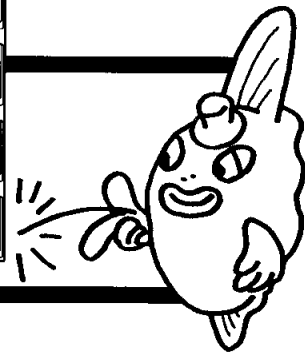


基本
レジストレーション

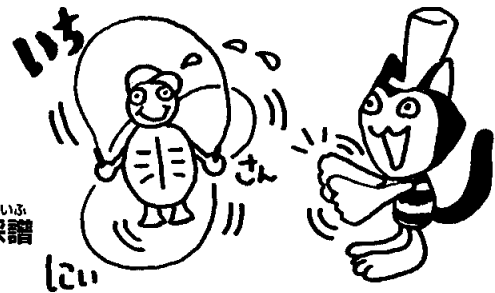


**おじまん
ぼくす**

^{きほん}基本レジストレーション ⁵ ボタンを押します。

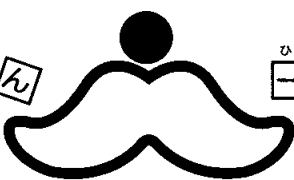


この曲は3びょうしです。「1-2-3、1-2-3」と
ひょうしをとりながら、ひいてくださいね。



基本レジストレーション ⑤

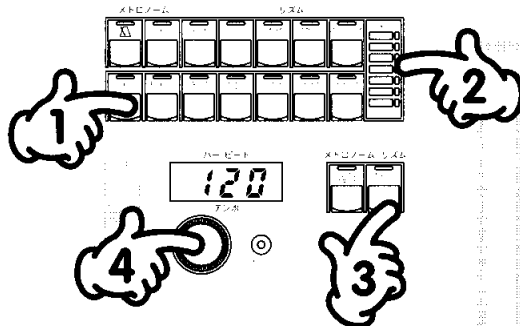
かくふ 楽譜『チョップスティックスより』ヒルスター^{さいふ}探譜



おまけ

メトロノーム(3びょうし)にあわせて ひいてみましょう。

① メトロノームの3びょうしを
えらびます。

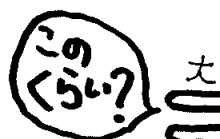


② メトロノーム(リズム)の
のボリュームを上げます。

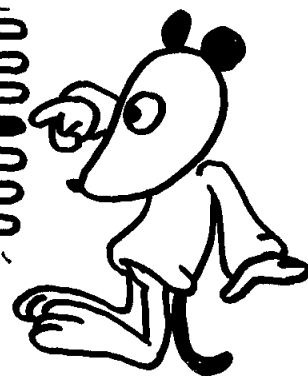
③ メトロノーム/リズムの
スタートボタンを押します。

メトロノーム/リズム

スタート

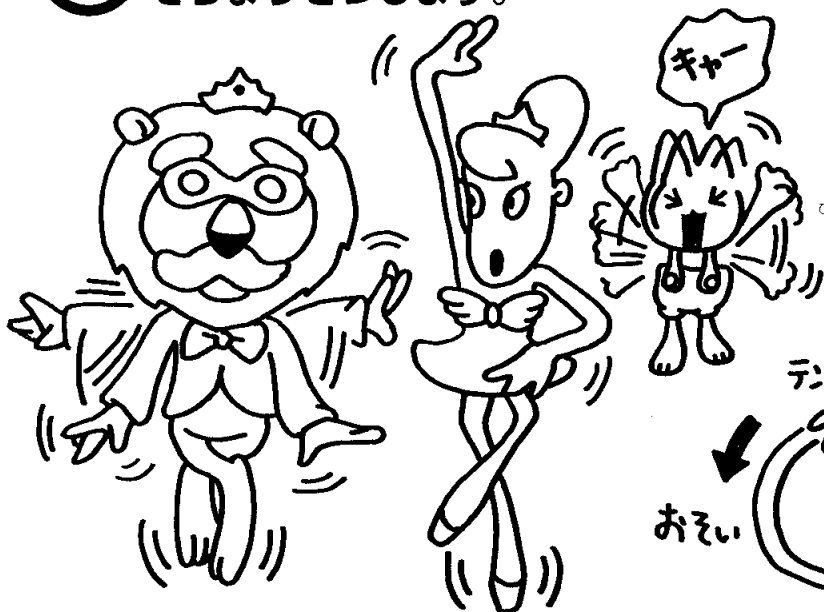


おそくしてあげよう



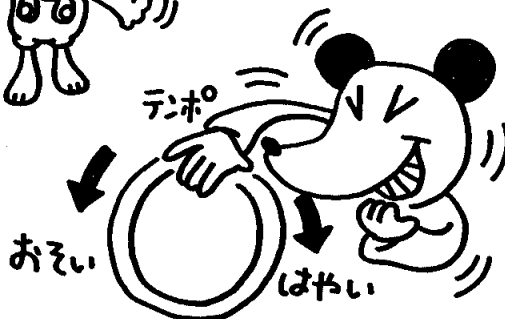
④ テンポダイヤルで3びょうしの速さ
をちょうせつします。

はや

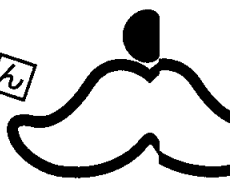


メトロノームの速さは120になっています。

少し速すぎるようだったら、テンポダイヤルを
左にまわして、おそくしてください。

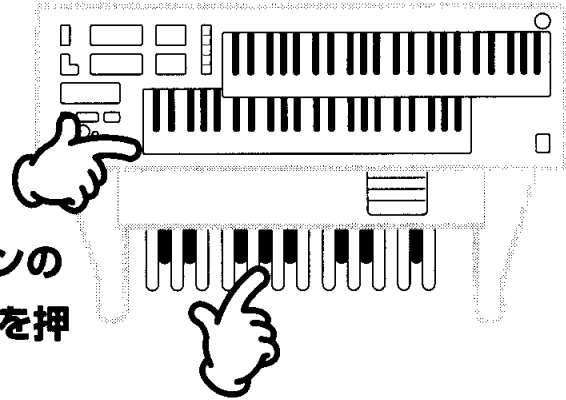


もういちどスタートボタンを押すと、メトロノームはストップします。



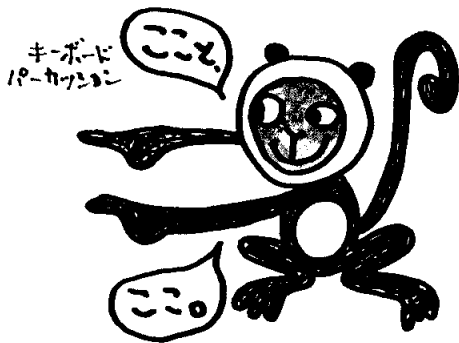
キーボードパーカッションをためしてみましよう。

エレクトーンの^{した}下けんばんとペダルけんばんには、
いろいろな^{だがっきおん}打楽器音(ドラムやパーカッション)が
^{はい}入っています。



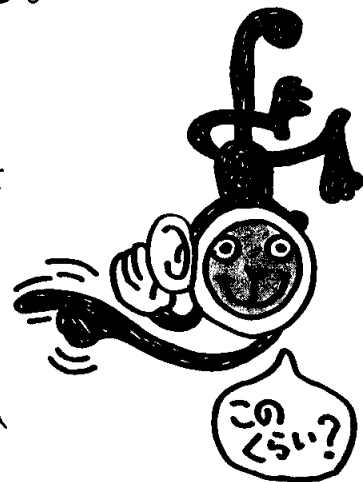
- ①** ^{ひだり}左はしにあるキーボードパーカッションの^{したけんばん} [下鍵盤] ボタンと [ペダル/デモ] ボタンを押
します。

^{したけんばん} [下鍵盤] ボタンと [ペダル/デモ] ボタンのランプがつきます。



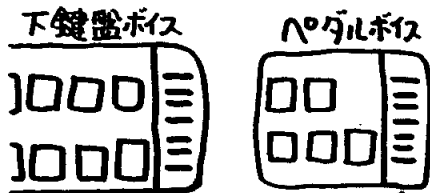
- ②** リズムのボリュームを
あ上げます。

リズム
大



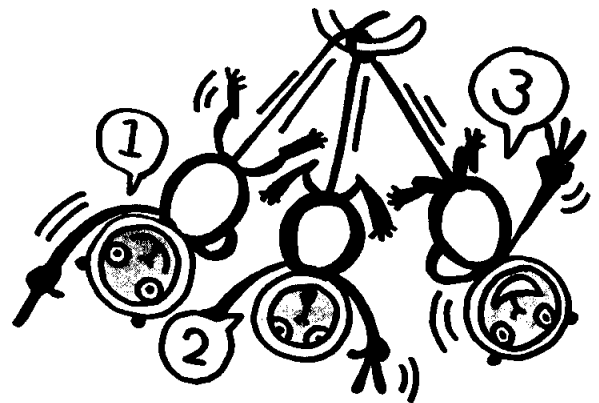
小

- ③** ^{したけんばん}下鍵盤ボイスとペダルボイスの
ボリュームを0にします。



- ④** 3びょうしのリズム打ちをしてみま
しょう。

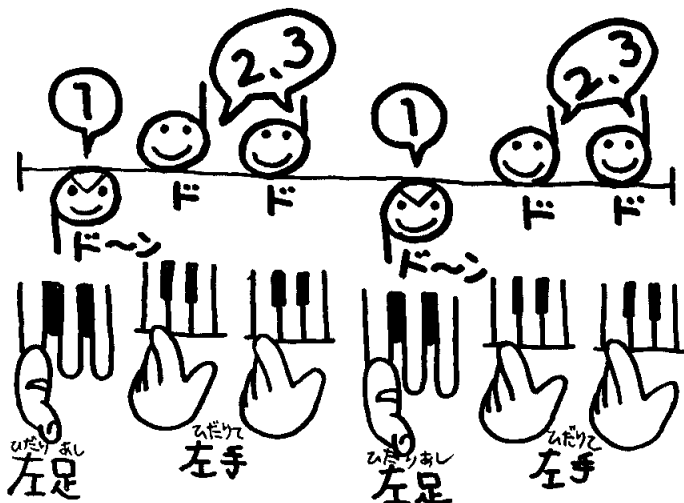
3びょうしのメトロノームにあわせてリズム打ちしてみるのも
いいでしょう。



ひだりあし
 左足で『1, 2, 3』の『1』を、
 ひだりて
 左手で『2-3』をたたきます。

たたくけんばんはイラストにあるように、

ひだりあし
 左足がペダルけんばんの左はし(バスドラムヘビー)で、
 ひだりて
 左手が下けんばんの下からふたつめの『ど』(スネアドラムヘビー)です。

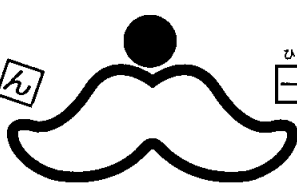


とりあつかいせつめいしょ
 ベっさつの「取扱説明書」の19ページに打楽器音表があります。

だがっきおん はい
 どのけんばんにどんな打楽器音が入ってるか、わかりますよ。

した
 下けんばんのてまえには、下けんばんに入っている打楽器音のイラストがあります。





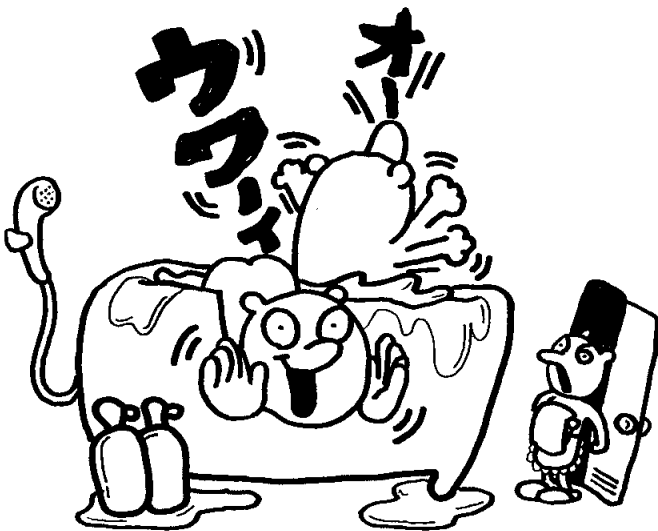
タッチトーン

エレクトーンのけんばんをひく強^{つよ}さで音^{おと}がかわりますよ。



リバーブ

左^{ひだり}はしにある[リバーブ]を^あげると、音^{おと}にゆたかな^なびびきがくわわります。おふる^{おふる}の^{なか}中でうたっているときも、こんなかんじかなあ。

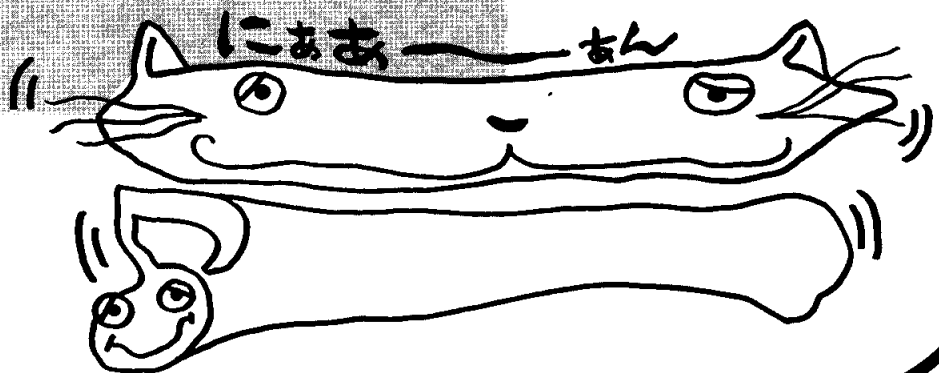


サステイン

サステインの^{うへけんばん} [上鍵盤]や^{したけんばん} [下鍵盤]、[ペダル]ボタンを^お押しすとそれぞれのけんばんでサステインがかかります。

サステインは音^{おと}を^{なが}長くのばす^{こうか} こうかです。

ピブラフォンやピアノの音色^{おんしよく}でためしてみましよう。





「おともだちがたくさんできて、よかったわ。
ねえ、ソラちゃん」

「おねえちゃんばかり、ひいてて、ずるいや。
でも、たのしかったね」

「ほんとにたのしかったにゃあ。

ソラちゃん、じゃんけんは^に二どとやんにゃいよーだ」

「おねえちゃん、ミーニヤったら、
パー^だしか出せないんだよ」

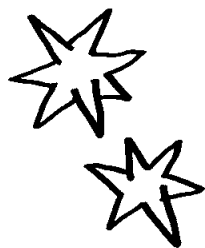
「また、くるんじゃよー」

「きをつけて、かえるんだグルルー」

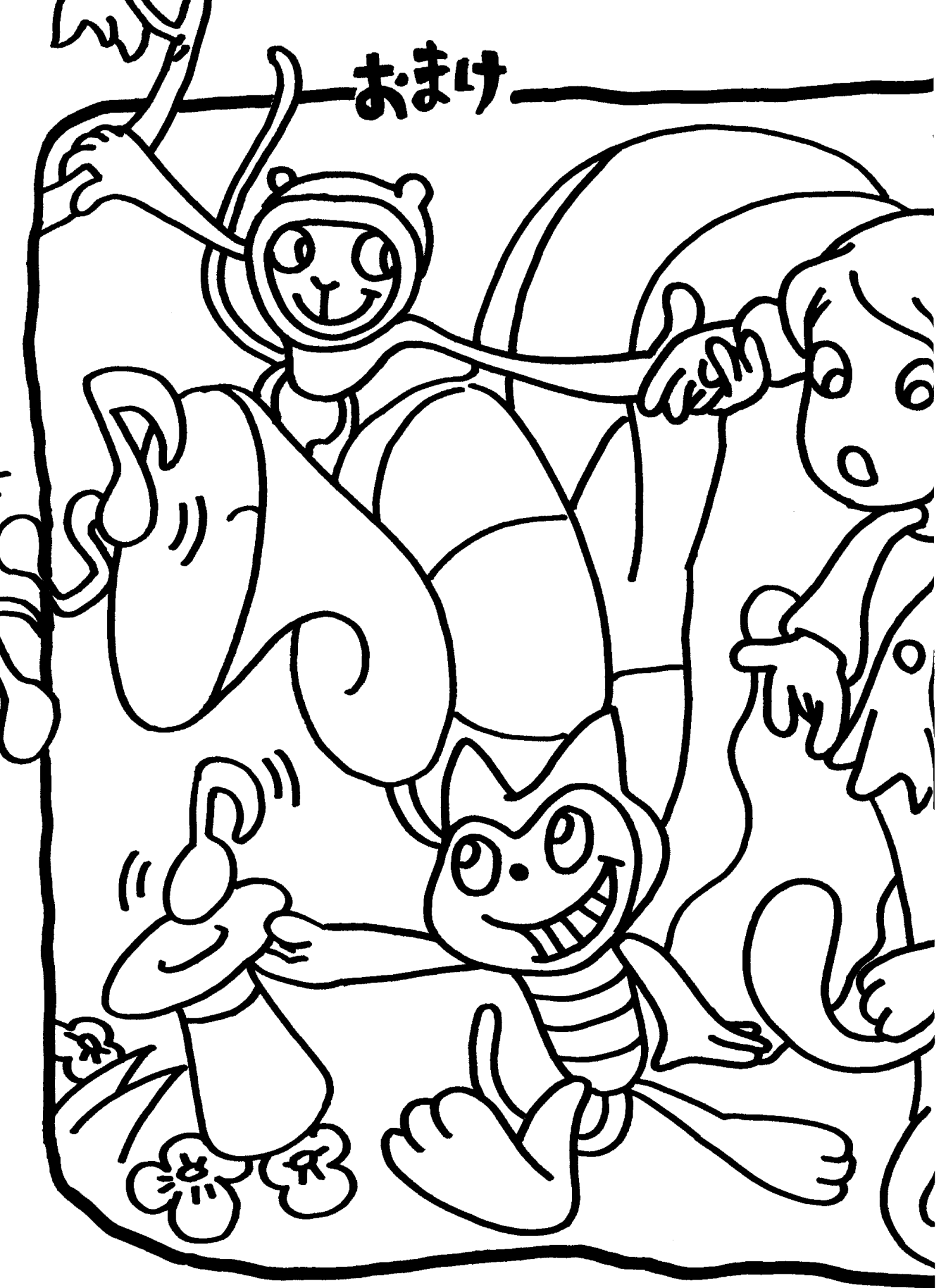
みーんなよくひけたので、

ごほうびに木^{きのみ}ノ実のバッジをもらいました。

「ありがとう、またくるね!!」

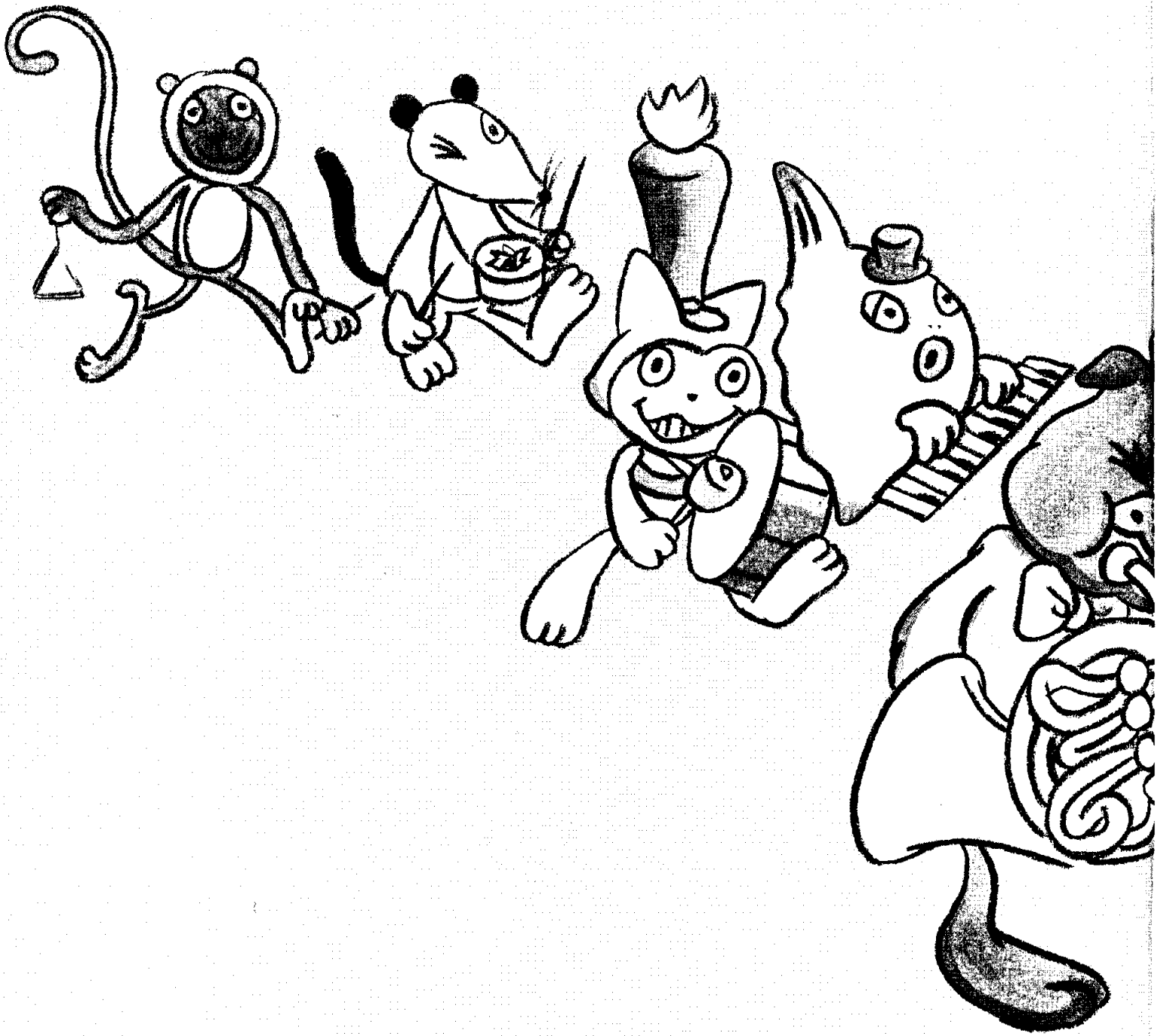


おまけ





きれいに
ぬってにゃあ!



ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division © Yamaha Corporation 1995

VT70220 510MWCP15.2-02B0